

第1回 板橋区かわまちづくり協議会 議事録

2022年3月24日（木）9時～9時半

出席委員）

危機管理部長 林委員、防災危機管理課長 関根委員、地域防災支援課長 柏田委員、
スポーツ振興課長 小田委員、環境政策課長 宮津委員、資源循環推進課長 森下委員、
都市計画課長 田島委員、土木計画・交通安全課長 義本委員、コミュニティ防災新河岸
地区代表 小原委員、板橋区町会連合会高島平支部支部長 戸田委員、板橋区青少年健全
育成高島平地区委員会会長：古谷委員、エコポリス板橋舟渡地区環境行動委員会会長 小
泉委員、板橋区観光協会事務局長 坂井委員、東京ドームファシリティーズ屋外施設担当
山田委員

1. 開会

事務局）

お時間になりましたので、ただいまより、「第1回板橋区かわまちづくり協議会」を開催
します。私、事務局を務めます、板橋区危機管理部地域防災支援課長の柏田でございます。
どうぞ宜しくお願いします。

本日は、コロナの影響も加味し、3会場にわけての開催となっております。舟渡地域セン
ター、高島平地域センターにお集まりの委員の方は、リモートでのご参加となります。オン
ラインの分散会場での開催にあたり不手際や、ご不便をおかけいたしますが、宜しくお願い
申し上げます。

なお、本事業は荒川下流河川事務所と連携して進めていくため、事務局についても国と区
で対応したいと考えております。

それでは、開会にあたり、本日、ご出席の皆様のご紹介をいたします。

お名前をお呼びしますので、宜しくお願いします。

—————（資料1の出席者名簿の名前を順に呼び、紹介）—————

資料の確認をお願いいたします。

- ・次第
- ・資料1 出席者名簿
- ・資料2 板橋区かわまちづくり協議会規約（案）
- ・資料3 板橋区かわまちづくり計画の概要
- ・資料4 板橋区かわまちづくり 未来の板橋発想会議

以上5点になります。皆様資料はお手元にごございますでしょうか。

それでは早速議事に移りたいと思います。

2. 板橋区かわまちづくり協議会について

事務局)

まずは資料2をご覧ください。事務局で板橋区かわまちづくり協議会規約(案)を作成しました。詳細については、後程ご一読いただければと思いますが、協議事項のみ確認させていただきます。

(協議事項)

第2条 協議会は次に掲げる事項について、協議を行う。

- (1) 板橋区かわまちづくり計画に基づく事業の実施に関すること。
- (2) 板橋区かわまちづくり計画の変更に関すること。
- (3) 板橋区かわまちづくり計画地、及び周辺の適正かつ公平な利用を確保し、地域が一体となって賑わいの場を創出すること。
- (4) その他、板橋区かわまちづくりの推進に関すること。

また議事についてですが、これまで事務局が説明してまいりましたが、議長が進行することとなっております。議長は危機管理部長がつとめる案としておりますが皆様いかがでしょうか。

————— (異議なし) —————

異議がありませんでしたので、議長は危機管理部長が務めます。

それでは議長、議事進行をよろしくお願いいたします。

議長)

それではここから私が議事進行を務めます。危機管理部長の林栄喜でございます。皆様よろしくお願いいたします。

先程のお話の中の「協議事項」で、板橋区かわまちづくり計画に基づく事業の実施に関することを協議会で検討していきますが、そもそもの板橋区のかわまちづくりとは何か説明させていただきます。板橋区かわまちづくりは、河川の賑わい創出はもとより、区北部が抱える防災面の地理的課題を解決する1つの手法です。この計画を実施していくためには皆様のご協力が欠かせません。本会議においても皆様からの忌憚のないご意見が頂戴できたらと思います。本日は、オンラインを使用してリモートによる参加の皆様が多くいらっしゃ

います。ご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に戻ります。

「板橋区かわまちづくり協議会」について、規約を中心にご説明申し上げましたが、骨格の部分に関しまして、何かご質問やご意見はございますでしょうか？

—————（質疑なし）—————

それではこれ以上ご質問ご意見もないようですので、よろしければ、本協議会は承認されたものといいたします。

3. 板橋区かわまちづくり計画の概要

議長）

それでは、次の「議事3：板橋区かわまちづくり計画の概要について」事務局から、説明をお願いします。

—————（事務局「資料3」の説明）—————

林部長）

「板橋区かわまちづくり計画」について、何かご質問やご意見はございますでしょうか？

小原委員）

かわまちづくり会議が年に1回程度の開催と聞きました。新河岸陸上競技場に水害対策用一時避難所が2年後に完成を目指していることは、地元として待望であり、大変喜んでおります。この会議は、地元の要望を伝えることができると受け止め、新河岸住民等で組織する、新河岸水害対策研究会メンバー、約30人でライングループを用いて、3月10日に打ち合わせを行いました。地域における合計1万人、新河岸住民5000人、新河岸で働く人5000人の命を守る避難所、水害対策用一時避難所に対して、地元として要望を述べさせて頂きます。

荒川堤防が決壊すると、新河岸地域は水深5～7mとなり、2～3週間水がひかない地域です。一時避難所の利用日数を2～5日と想定し、その後、板橋区が開設する高台の避難所に避難することを想定します。

要望の1つ目としまして、防災倉庫・防災用具の設置・非常食・飲料水・仮設トイレ・タオル・携帯用充電器やパソコン等の用意。2つめ。台風の大雨大風等から身を守る屋根・壁の設置。3、新河岸地域は高齢者が非常に多く、要支援者が100人いるため水害に強いEVの設置。4、堤防の天端の拡幅工事を実施し、緊急車両用駐車場、ヘリポート場の設置。体調を崩された方の緊急搬送用の駐車場。ドクターヘリ用。移動用・バス用です。5、ペッ

トと 24 時間一緒に暮らせる避難所の設置。板橋区の避難所はペットエリアを設けていると聞いていますが、新河岸地域はペットと生活する一人暮らしの高齢者も多く、避難拒否が起きないようにしたいと思っています。

以上 5 項目を取り入れた避難所の完成をお願いしたいです。

議長)

小原様から貴重なご意見いただきましたが、事務局の方からいかがでしょうか。

事務局)

ご意見・ご要望ありがとうございます。現段階で、全てできると回答はできませんが、今後、可能なところは検討させて頂き、対応可能なものは実現していきたいと思います。よろしく願いいたします。しかし、小原様からお話頂いた、現地は屋根がない点や土地を我々が自由に改築・改造できず（東京都下水道局保有のため）、倉庫やエレベーターの建設についても、今後調整が必要だと考えております。次いで、「避難所」の考え方につきまして、原則は雨風をしのぐ屋根がないため、快適な避難生活ができるわけではなく、基本的には高台に事前に逃げて頂くことが原則であると考えています。この点に関しましては、現地を改修したとしても変化しません。また、避難所に収容できる人数にも制限があるため、原則は遠くに逃げていただきます。最後の逃げ遅れた方の命を救う場所として、一時的に開放するという使い方になると思っております。そのため、地域の方々にも「まず、危なくなればここにいけばいいや」というのであれば、人が溢れかえる可能性や快適ではないというところは、小原代表の方からも周知・発信して頂きたいです。この考え方は変動しないため、我々も周知の方を進めていきたいと考えております。

小原委員)

宜しくお願いします。

議長)

今後、実現に向けて、区の方でも、国の荒川華扇事務所と相談しながら検討していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

4. 板橋区かわまちづくり未来の板橋発想会議

議長)

次の「議事 3：板橋区かわまちづくり 未来の板橋発想会議」について、事務局、説明をお願いします。

議長)

「未来の板橋発想会議」について、何かご質問やご意見はございますでしょうか？

小泉委員)

面白いと思います。やらなくてはいけないことは、「土手の強さ」等の川の安全性を高める必要があると考えます。その中でできることを行うことは、世界でも川はまちで集まる場所であり、日本においても京都における川床等もあるため、何かの機会に人が集う場所を面白く考えることはよいと思います。しかし、最後は防災面をきちんと考えて頂きたいです。よろしくお願いいたします。

事務局)

防災面に関しては、考慮しなければいけない点と考えておりますので、検討していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

議長)

他のご意見等宜しいでしょうか。本日予定していました、議題・議事は以上で終了となります。

5. 閉会

事務局)

先程、小原代表からお話のあったように、本会は年1～2回開催できたらと考えています。最後に、荒川下流河川事務所からも、事務局として閉会の挨拶をお願いします。

事務局)

お世話になります。国土交通河川事務所地域連携課長・佐藤と申します。

私共は、板橋区様とともに、地域の防災及び地域の賑わい、利便性向上に向けて協力して取り組んでいきたいと思っております。今後も引き続き、よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

事務局)

以上をもちまして、会議を終了します。皆様ありがとうございました。

以上